　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０２３（令和５）年４月吉日　記

井原すがこ県議の得票分析

井原すがこさんは、岩国市・和木町選挙区の山口県会議員初の女性議員として２０１１年４月１０日に初挑戦でトップ当選をした。同１５年、１９年と３選を果たし、今年４月９日の第２０回統一地方選挙の山口県議会議員選挙で４回連続の当選を３度目のトップで飾った。

　この戦績を投票という数値から我流で分析した。（下表ご参照）

**註**　＊数値は岩国市・和木町の合計。　＊有権者数・投票率はネットより。

＊投票総数は投票率から換算。＊得票率は得票数と投票総数から計算

|  |
| --- |
|  |

から換算。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **井原得票数**  **（票）** | 有権者数（人） | 投票率  （％） | 投票総数  （票） | **井原得票率（％）** |
| 2011年04.10 | **１５２１１** | １２３３１６ | ５７.２９ | ７０６４７ | **２１.５** |
| 2015年04.12 | **１３２０７** | １１９５１６ | ４９.５６ | ５９２３２ | **２２.３** |
| 2019年04.07 | **１１０５３** | １１７２１９ | ４３.９３ | ５１４９４ | **２１.４** |
| 2023年04.09 | **１１０２４** | １１１９７６ | ３９.６５ | ４４３９８ | **２４.８** |

**結論：『「草の根」の活動には基盤的な支持者が一定数ある』。**

　初回当選時から、この１２年間で選挙区内の有権者数１万１３４０人減、投票率１７.６４％低下している。実に投票総数は２万６千票減という悲しい結果になっている。

しかし、井原すがこさんの得票率は毎回２０％を超え、確実に１万票台を超える支持を「草の根・井原候補」は得ている。今回は前回より３.４％も高い得票率になっている。これは他候補には見られない顕著な差である。

こうなる要因はいくつもあろうが、私は特に次の２点を特に上げたい。

その１　政務活動費の受け取り辞退

ともすれば各政党とも影の姿で手を付けなかった年間４２０万円の政務活動費を辞退する公約は、有権者には新鮮な公約にうつり、一方でその金額の多さにも驚き、無関心層の気持ちを引き付けた。全国的な傾向であったが、当県がネット上で公開せざるを得なくなったのは、政務調査費辞退の公約とその実行がボディーブローのように議会に働いたと思っている。この方針は永続して欲しい。

その２　定例会ごとの報告と集会

　県議会の定例会は年間４回開催される。これまでの３期１２年間で合計４８回の定例会が開かれた。この間、１度も欠かすことなく、質問の持ち時間一杯に県行政の在り方や政策などを一般質問として質された。よくある「言いましたよ」ではなく、その内容を議会報告として印刷し広く選挙区内に自らの足とボランティアの活動で配布されている。

　　配布だけでなく各地で集会を開き、文字に出来なかったことを直接話し、皆さんの意見や感想、地域で困っている問題などを把握し、その解決にフットワークよく対応される。

　集会は、新型コロナ感染防止のための規制や要請により２０年初頭から控えていた。しかし、ご要望もあり定例会ごと１回、市民文化会館でミニ集会を開催しました。集会は通算で約５００回近くになり、支援者の応援の積み重ねの大きさに驚きます。

なお、同一選挙区で直近の４年間で１度も質問しない候補もあることを付記したい。

　井原議員、草の根の今後の課題は、次代の人材発見とその育成と考える。

以　上